

2023年卒
Vol. 06

4月1日時点の就職活動調査 〈速報〉

キャリアス就活 2023 学生モニター調査結果 (2022年4月発行)

2023年卒の採用広報開始から1カ月。コロナ禍をきっかけにオンライン中心の活動が広がるなかで、就職戦線はどのように進んでいるだろうか。キャリアス就活・学生モニターを対象に、就職活動状況について調査を行った。取り急ぎ主要指標のみ紹介したい。

1. 4月1日時点の内定状況

- 内定率は46.5%。前年同期実績(38.2%)を8.3ポイント上回る
- 就職先を決めて活動を終了したのは全体の1割強(15.7%)。大半が就職活動を継続

2. エントリー状況、選考試験受験状況

- 一人あたりのエントリー社数の平均は22.6社。前年同期調査(24.4社)を約2社下回る
- ES提出社数は平均11.4社で前年より減少。面接社数は前年を上回る(5.0社→5.4社)

3. 面接形式ごとの受験状況

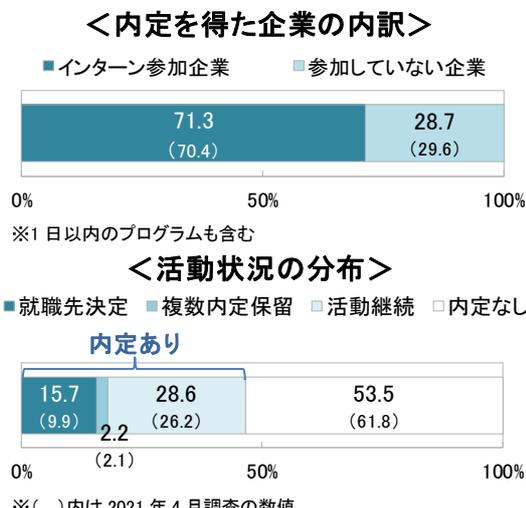
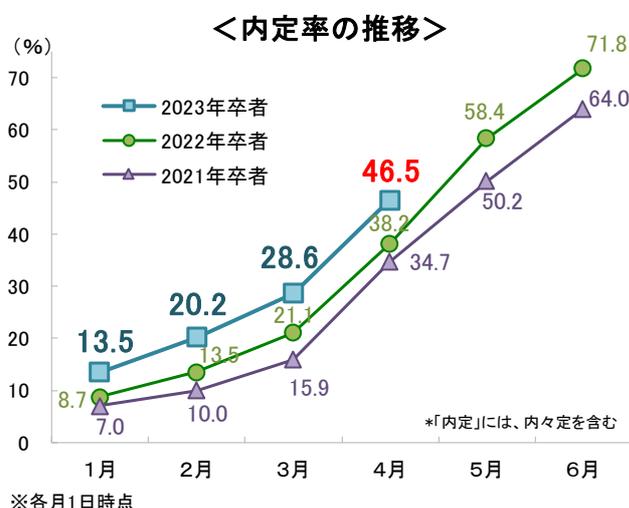
- WEB面接が主流も、対面面接が前年より増加(54.2%→56.6%)

1. 4月1日時点の内定状況

4月1日の調査時点で内定を得ている学生は全体の46.5%。先月(3月1日)の28.6%から1カ月間で17.9ポイント増え、4割を大きく超えた。前年同期(38.2%)に比べ8.3ポイント高く、かなり早いペースで進行。採用広報解禁後に就職戦線が一気に加速した様子が見て取れる。

内定を得た企業の7割(71.3%)がインターンシップ(※)に参加した企業で、前年(70.4%)より比率が高まった。インターンシップで接点を持った学生の囲い込みが進んだことがわかる。

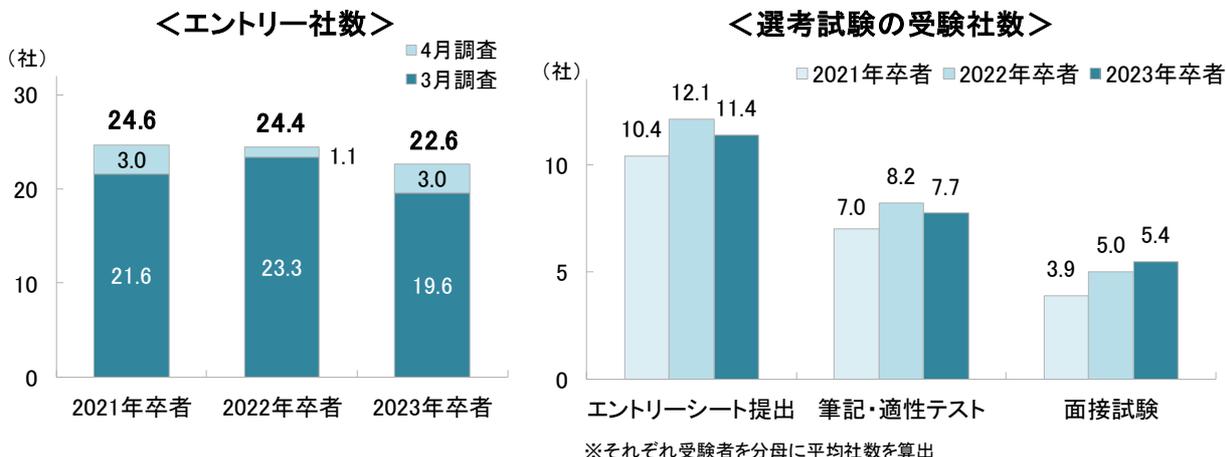
内定率はかなりの高水準だが、内定取得学生の多くは内定を保持しながら就職活動を継続している。就活終了者(就職先決定)はモニター全体の15.7%。
(※1日以内のプログラムも含めて調査)



2. エントリー状況、選考試験受験状況

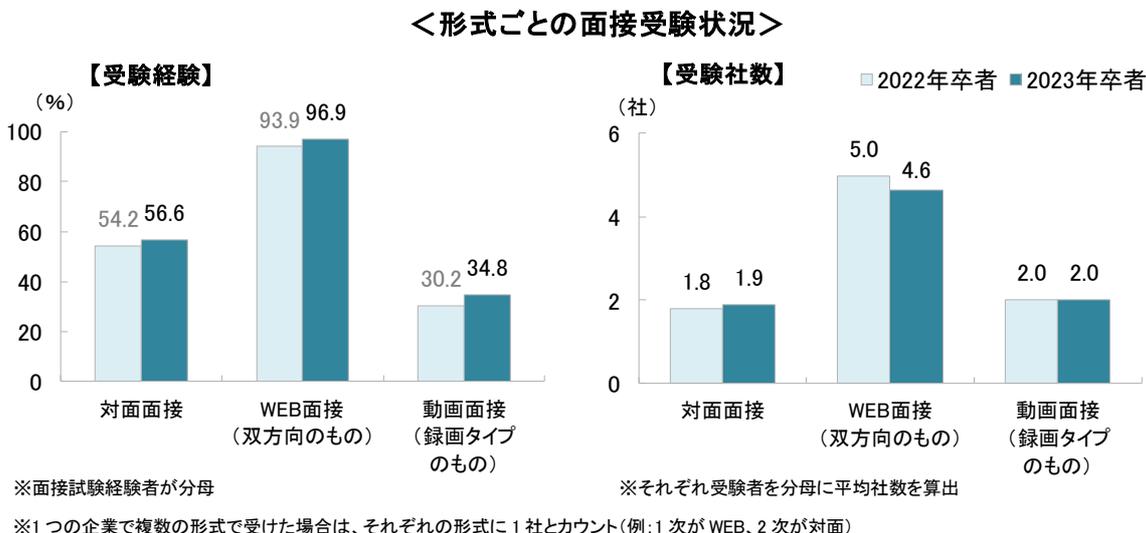
ここまでの活動量を見てみる。まず、一人あたりのエントリー社数の平均は 22.6 社。この 1 カ月で 3 社増えたが、3 月調査に引き続き前年同期実績を下回った。企業を絞り込む傾向が強まっている。

エントリー社数の減少に伴い、ES 提出社数や筆記試験の受験社数も前年同期を下回った。但し、面接試験については前年を上回る (5.0 社→5.4 社)。選考のペースが前倒しになっているためと考えられる。



3. 面接形式ごとの受験状況

面接試験経験者 (全体の 85.4%) に対し、面接形式ごとの受験状況を重ねて尋ねた。WEB 面接の経験者は 9 割台後半で (96.9%)、面接の多くがオンラインで行われていることがうかがえる。対面での面接経験者は半数強で前年より 2.4 ポイント増加した (54.2%→56.6%)。社数についても WEB 面接が多いが、前年同期よりやや減少 (5.0 社→4.6 社)。対面面接は 1.9 社で、前年 (1.8 社) をやや上回る。オンラインを主軸にしながらも、対面での面接機会を取り入れる企業が増えているようだ。



調査概要

- 調査対象 : 2023 年 3 月に卒業予定の大学 4 年生 (理系は大学院修士課程 2 年生含む)
- 回答者数 : 1,265 人 (文系男子 439 人、文系女子 369 人、理系男子 326 人、理系女子 131 人)
- 調査方法 : インターネット調査法
- 調査期間 : 2022 年 4 月 1 日~5 日
- サンプリング : キャリタス就活 2023 学生モニター